

オンリーワンの研磨加工技術で競争力を確立し、高い付加価値と生産性を実現

創業以来45年間、金属板の研磨加工を追求し続け、自社開発の研磨具と独自加工技術により、他社には真似できない高級感と独自の輝きを表現。3Dスピン加工を始めとする特殊研磨加工は、有名テーマパークのアトラクション内装、世界的ブランドの店舗外装、高級車等、名だたる企業や商品で数多く採用されている。少人数かつ特殊加工でありながら、量産性・再現性も確保、特別な加工を求める企業の需要に応えている。また、独自の技術が認められ数多くの賞も受賞している。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 岐阜県美濃加茂市野笹町2丁目3-33 | ● 設立 | 1973年 |
| ● 電話/FAX | 0574-25-1246/0574-26-3751 | ● 資本金 | 1,000万円 |
| ● URL | http://www.bikogiken.co.jp/ | ● 従業員数 | 6人 |
| ● 代表者 | 代表取締役社長 和田昇悟 | | |



生産性向上

加工技術を強みに自社ブランド展開も含む高付加価値化を追求

研磨加工一筋で積み上げたノウハウをベースに、自社開発の研磨具と卓越した職人技で高い加工技術を確立し、大手自動車メーカーのTier1等からも、仕上がりの美しさは世界トップレベルとの高い評価を獲得。大手からの下請ではなく技術で選ばれる存在となった同社は、非金属素材への転用など新規市場開拓に努める傍ら、特殊研磨加工品の自社ブランド「MIHIKARI」を立ち上げ、拘りのあるジュラルミン名刺ケース等を販売するなど、ブランド構築による付加価値と生産性の向上も図っている。



自社ブランド商品、美しい研磨仕上げ技術

ITの積極活用による業務効率化に注力

ITを活用した業務効率化を推進。会計処理では、会計事務所とクラウド上で情報を共有して資料や作業負担を削減するソフトを導入。生産管理では、売上・仕入管理のシステムを活用し、必要在庫の管理と受発注、得意先・仕入先管理等を一括処理するとともに、管理データから生成したグラフや資料を営業ツールとしても活用。加えて工場でも、NC機械のプログラム読込・書出を簡単に行ってバックアップや変更修正ができるようバージョン変更等、加工工程から事務処理まで含めた効率化を実現した。



NC機械の導入によって効率化した加工

幅広い人材活用と多能工化による技術の蓄積・伝承

定年後再雇用したシニア男性から20歳代の女性まで、幅広い人材を採用して適材適所で活用。また、スキルマップ制度を採用して、各職員がもつスキルやできる仕事が見える化。互いに切磋琢磨しつつ教え合う仕組みを整えて、専門性向上と多能工化を併行的に進め、誰もが皆の補助に入れる体制にするとともに、技術の蓄積と伝承を図っている。さらに、今後人材確保がより難しくなることを想定し、自動化可能部分を極力自動化するとともに、自動化機器の操作に対応できる人材の育成にも取り組んでいる。



幅広い人材を活用しながら技術を蓄積

ものづくり